

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	< B区分 > 阿波座駅自転車駐車場、九条駅自転車駐車場、ドーム前千代崎駅自転車駐車場、西大橋駅自転車駐車場、西長堀駅自転車駐車場、朝潮橋駅自転車駐車場、大阪港駅自転車駐車場、弁天町駅西自転車駐車場、弁天町駅東自転車駐車場、大正駅自転車駐車場、大正駅地下自転車駐車場、谷町四丁目駅自転車駐車場、谷町六丁目駅自転車駐車場、難波千日前自転車駐車場、森ノ宮駅自転車駐車場、芦原橋駅自転車駐車場、今宮駅自転車駐車場、恵美須町駅自転車駐車場、桜川駅・JR難波駅・汐見橋駅自転車駐車場、大国町駅自転車駐車場、JR野田駅・玉川駅自転車駐車場、野田阪神駅・阪神野田駅自転車駐車場、福島駅自転車駐車場、扇町駅・天満駅自転車駐車場、大阪天満宮駅・南森町駅自転車駐車場、地下鉄中津駅自転車駐車場、天神橋筋六丁目駅自転車駐車場、中崎町駅自転車駐車場、阪急中津駅自転車駐車場、安治川口駅自転車駐車場、西九条駅自転車駐車場、上本町駅・谷町九丁目駅自転車駐車場、四天王寺前夕陽ヶ丘駅自転車駐車場
施設所管課・担当	建設局企画部方面調整課（自転車対策担当）
条例上の設置目的	駅周辺並びに公共の場所における自転車、原動機付自転車及び自動二輪車（以下「自転車等」という。）の放置による危険又は障害を解決する手段の一つとして設けている本市の有料自転車駐車場（以下「有料駐輪場」という。）について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項及び大阪市立有料自転車駐車場条例（平成18年条例第87号。以下「条例」という。）第5条の規定に基づき、有料駐輪場を設置している
業務の概要	・市立有料自転車駐車場の管理運営に関すること ・有料自転車駐車場及び附帯施設の維持保全業務
成果指標	・市民サービスの向上に伴う利用満足度
数値目標	利用満足度：利用満足度のアンケート結果のうち100％
指定管理者名	アーキエムズ・阪神ステーションネット連合体
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用満足度
数値目標	100%
年度実績	98.6%
達成率	98.6%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用台数（定期）	211,663	214,764	△ 3,101
利用台数（一時）	2,905,684	2,850,961	54,723
利用率(定期)	78.6%	80.8%	△2.2%
利用率(一時)	96.4%	96.6%	△0.2%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	—	—	—	
	計画	—	—		
利用料金収入	実績	674,282,160	676,271,350	△ 60,075,840	テレワーク等の普及により駐輪場利用者が減少したため。
	計画	734,358,000	723,514,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	—	—	—	
	計画	—	—		
合計	実績	674,282,160	676,271,350	△ 60,075,840	
	計画	734,358,000	723,514,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	407,723,339	397,277,539	85,167,339	機械式ラック導入のスピード化が図れず、人件費削減が出来なかった事、最低賃金の見直しで想定よりも多い金額の時給上昇に至ったため。
	計画	322,556,000	313,799,000		
管理費	実績	291,634,675	272,920,277	△ 120,167,325	他社からレンタルを行っていた機械式ラックを自社機器投資に切換える事で、レンタル費、遠隔管理費（サポートセンター費）、メンテナンス費の削減を行ったため。
	計画	411,802,000	354,433,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	—	—	—	
	計画	—	—		
合計	実績	699,358,014	670,197,816	△ 34,999,986	
	計画	734,358,000	668,232,000		

令和５年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用満足度	98.6%	B	

（２）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
本市からの支出を 0 とし、かつ本市に納付金を納めている	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

実施内容（質問項目）：利用者満足度（駐輪場の利用しやすさ、機械化について、清掃、管理員の対応、挨拶）、導入してほしいサービス
調査方法（期間）：セルフモニタリング（良い・普通・悪いの3段階評価）B区分全駐輪場（令和6年2月25日～3月31日）
回答率：59.4％（33駅（配布 2860枚 回収1701枚））
結果：良い・普通 98.59％ 悪い1.41％

6 外部専門家意見

・利用状況が前年度と比べ若干減少しているが、高いアンケート回収率にも関わらず、満足度も高い数値を示している点は評価できる。一方、定期利用の停滞は今後も継続することが明らかである。併せて物価上昇に伴う管理費の高騰も予想される。以上のことを踏まえ、機械化などによる人的・物的環境改善（管理者による努力）だけではなく、行政サイドも交えた今後の検討が必要と考える。
・前年度比較では利用率が低下、計画比較では収入は△60,075千円(△8.1%)、支出△34,999千円(△4.7%)、収支＋25,076千円となっている。ただし、管理費には減価償却費が含まれていないため、実質的な管理費(減価償却費含む)の削減額は△120,167千円ほど多くはないと考えられる。特に支出面は計画時から市場環境が大きく変わりやむを得ない面も考えられるが、収入面は抜本的・具体的な改善策が必要である。計画時と各駅の人流同行を比較し、本当に駅利用者が減少しているか検証する必要がある。また、一時利用は100％超が複数箇所あり全体的に利用率は高いが、定期利用は80％以下も多数ある。設置箇所ごとのニーズの把握を行い、従業員の利用促進を含めた企業との定期契約、レンタルサイクル事業者との提携等も視野に計画達成に対する具体的な施策が必要である。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・アンケートの結果において「非常に良い・良い・普通」評価の割合が98.6%であった。 ・今後導入してほしいサービスについて、定期利用のWEB手続きの希望が多く挙げられており、満足度向上のための検討材料と言える。
市費の縮減	B	・利用促進策等を実施することで、提案通りの基本納付金額を納め、計画通りの市費縮減効果を得ている。
管理運営の履行状況	B	・大阪メトロデジタルサイネージを活用し、放置自転車啓発のサインを表示するなど、放置自転車対策に寄与した。 ・機械化を行った3施設において、無料時間を設定し、短時間利用を促進することで、放置自転車対策に寄与した。 ・施設の管理運営はチェックシートを使用し、毎月適切に実施した。 ・管理人等の研修を当初計画どおり実施した。 ・就職困難者の雇用への取組みを実施した。
総合評価	B	・多様な決済サービスの導入などにより、サービス向上に努めている点において大きく評価できる。今後も、さらなるサービスの向上を図り、利用促進に努められたい。